

豊中市地域包括支援センター事業評価表

ア) 総合相談支援事業について特に力を入れて取り組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
1	<p>総合相談支援事業（次のいずれかの視点を入れて取り組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/>3 職種の専門性を活かしたチームアプローチを実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>多機関と連携した重層的支援体制の構築に向けた取り組みを実施している。</p>	<p>【目標と具体的な取り組み内容】</p> <p>目標： 高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられるようにします。</p> <p>内容： 複合的な課題があるケースでは積極的にケース会議を開催し、多機関と協働し問題解決に取り組んできました。その結果、在宅生活の継続につながるケースは前年度より 25%増加しています。また、地域ケア会議（高齢部会）の開催を通じて、民生委員・児童委員を含む多機関が連携し、見守りや支え合いを行う意識の醸成を図りました。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>市の医療系アウトリーチ事業との連携を図り、重層的支援が必要な家庭への支援が推進されています。地域の校区福祉委員・民生委員・児童委員との連携で、地域を支援する関係性の構築に取り組んでいます。コロナ禍以降中断していた、介護事業者による地域貢献活動の再構築にも取り組んでおり、介護事業者と地域住民が交流する機会になっています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>各専門職と協働して実施する重層的支援につながる取り組みを大切にしています。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

	【課題】 複合的な課題があるケースの相談は増加しており、今後も地域住民を含む多機関が連携した支援は必要です。	【課題】 総合的な支援体制の構築に努めていますが、重層的支援ニーズの増加から需要に追いついていない現状が見受けられます。
	【改善の方策と次年度の取組み】 3職種の専門性を活かしたチームアプローチができるよう研修に参加し、自己研鑽に取り組みます。地域ケア会議（高齢部会）や各ケースでの支援を通して多機関の連携を強化し、高齢者の支援体制が充実するよう取り組みます。	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

イ) 権利擁護事業について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
2	<p>権利擁護事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 自分らしく尊厳をもって生活することができるよう、自己決定・意思決定支援をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 予防的アプローチと地域づくりに取組んでいる。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 人生の最期を自分で選択し、自分らしく生活ができる人が増えることを目的に、高齢期に訪れる様々なリスクに対してあらかじめ備えておく必要性について周知します。</p> <p>内容： 高齢期に訪れる様々なリスクに対してあらかじめ備えるための活動である「終活」をテーマとした地域教室、地域ケア会議（高齢部会）を実施し、参加者の86%から「終活について理解が深まった」という意見が得られました。また、地域で開催したイベントにおいても、参加者の80%から「自分も活動してみたいと思った」という感想が得られました。これらの結果から、「終活」について、一定程度の周知や理解が進んでいるものと考えます。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>エンディングノートの配布や、独自に作成した「終活すごろく」の体験を通じ、関心を持っていただけるような住民への啓発の取組みの工夫が行われています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>様々な啓発活動を行うことにより、終活や権利擁護に関する理解が浸透しつつあります。</p> <p>【課題】</p> <p>終活の必要性等が浸透してきていますが、実際に自分ごととしての取組みにつながるケ</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <p>詐欺の電話や訪問についての報告が増えています。 ひとり暮らしまたは夫婦のみ世帯の高齢者は増加傾向にあり、3年間で約600世帯（増加率4.8%）増加しています。必要な時に支援を受けられていない高齢者への支援体制が必要です。</p>	<p>ースをどのように増やしていくかが課題であると考えます。</p>
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>高齢者の権利・尊厳が守られ、住み慣れた地域で日常生活が送れるよう、深刻な権利侵害を未然に防ぐ取組みを進めます。</p>	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
3	<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>介護支援専門員等への個別ケアマネジメント支援において、地域包括支援センターが代わりに行うのではなく、介護支援専門員がより良い判断に到達できるよう助言等の支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>地域アセスメントを実施し、地域の実情に応じた取組みを実施している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 多様化する事案に対応するため、介護支援専門員が主体的に実践力を向上できるようにします。</p> <p>内容： 事例検討会を開催し、主任介護支援専門員や経験豊富な介護支援専門員から新任介護支援専門員へ助言が行われ、制度理解や対応力が向上したとする評価が70%ありました。 また、ケアプラン作成の勉強会では、主任介護支援専門員の助言を受けつつ、介護支援専門員同士で意見交換を行った結果、参加者の100%が「実践力・支援力の向上に役立った」、76%が「制度・地域資源の理解向上に役立った」とする回答を寄せています。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>介護支援専門員に対する研修を事例検討を中心とした内容で展開することで、現場で使える知識や事例の共有に取り組んでいます。多職種連携を目的とした、圏域内の意見交換会を通じた、情報共有・情報交換も行われています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>事例を中心とした研修内容に移行したことによって、参加された介護支援専門員の満足度が向上しています。</p> <p>【課題】</p> <p>介護支援専門員に対する、介護保険制度以</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

	【課題】 周囲の家族や関係者が心配していても、本人自身には困りごとの自覚がなく、支援につながりにくい高齢者が増えています。	外の社会資源の周知や、社会資源の使い方・啓発を工夫することで、利用者が必要とする柔軟な計画策定につなげる取組みの推進に期待します。
	【改善の方策と次年度の取組み】 地域の実情に応じて関係機関との連携体制を強化し、支援につながりにくい高齢者にも継続的にアプローチできるネットワークづくりを進めます。	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

エ) 介護予防ケアマネジメント事業について特に力を入れて取り組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
4	<p>介護予防ケアマネジメント事業（次のいずれかの視点を入れて取り組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 自立支援に資するプランになるよう、委託先の居宅介護支援事業所に対し、積極的なアプローチを実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の主体性を引き出すための工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> リハビリテーション専門職に意見を求めるなど、生活能力の改善・維持・悪化の可能性を見極める視点を培っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 潜在的対象者の把握について工夫している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 新規で介護保険サービスを利用する際に、地域資源につなげ、高齢者が主体性をもって地域とつながりながら生活できるようにします。</p> <p>内容： 地域包括支援センターで新規に契約する際は、地域での活動を必ず確認しています。つながっていない場合は地域資源マップ等を用いて紹介し、つなげるようにしています。実際に今年度新規で契約した利用者のうち 42%が地域の資源につながり、主体性を持って参加できています。地域につながった後も定期的に確認し、新規契約した時よりも意欲的な発言が聞かれています。</p> <p>【課題】</p> <p>高齢者数は緩やかながら増加しており、今後も増加する見込みで、要支援対象者も減りません。介護の担い手も不足していくため、介護保険サービスの利用を必要最小限にとどめ、元気に暮らす高齢者を増やすことが必要です。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>介護支援専門員に対する資質向上研修を実施し、高齢者の主体性を引き出すための計画策定を学ぶ機会が提供されています。利用者への情報提供を工夫することで、利用者が主体的に動けるよう取り組んでいます。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>圏域内の気軽に参加できる場を紹介した地域のつどいの場マップを本年度更新作成し、A6サイズとすることで気軽に手に取っていただけるよう配慮しています。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>要支援認定を受けても、介護保険サービスの利用だけに依存するのではなく、高齢者自身が主体性を持って地域とつながる活動に参加できるよう取り組みます。</p>	<p>【課題】</p> <p>潜在的利用者の掘り起こしを行うことで、早期から主体性を引き出せるアプローチにつなげることを期待します。</p>
--	--	---	---

豊中市地域包括支援センター事業評価表

オ) 認知症地域支援・ケア向上事業について特に力を入れて取組んだことを1つ記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
5	<p>認知症地域支援・ケア向上事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症支援に関する個別事例において、嘱託医、初期集中支援チーム、疾患センター等の専門機関に相談する必要性を判断し、必要時相談できる体制を整えている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の実情に応じた方法により、認知症の人とその家族が参加する場で、本人の意欲向上と家族の介護負担感の軽減、認知症の人の在宅生活の安定を推進している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 認知症予防などにかかる啓発活動について、工夫を凝らした取組みを推進している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 認知症になっても仲間とつながり活躍できるという新しい認知症観が広がり、誰もがその人らしく暮らせる環境づくりに取り組めます。</p> <p>内容： 認知症サポーター養成講座を通じて、地域の一員として役割をもって生活される方を紹介し、自分ごととして認知症を考えられるよう取り組みました。講座終了後のアンケートでは、97.5%の方が「よくわかった」、「だいたいわかった」と回答され、75%の方が「認知症サポーターとして活動したい」と回答されたことから、新しい認知症観に関する啓発につながりました。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>認知症サポーター養成講座、認知症の当事者・家族の集い、オレンジカフェの開催等、啓発活動や相談事業を実施することによって、啓発の幅を広げています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>地域の企業や団体に対する啓発活動実施の働きかけが推進されており、裾野を広げる取組みとなっています。当事者や家族等が声を届ける機会の確保を大切にしています。</p> <p>【課題】</p> <p>圏域内で養成が進んでいる、【注1】 オレンジャーを活用した活動の充実に期待します。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <p>認知症についての正しい理解がなく、新しい認知症観の浸透が不十分なため、認知症当事者が望む暮らしや、当事者の思いの実現が困難であると考えます。</p>	<p>【注1】 オレンジャー</p> <p>近隣の認知症サポーターがチームを組み、認知症の方や家族に対する早期の生活面での支援等を行うための「チームオレンジ」の担い手となる人。</p>
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>一緒に新しい認知症観の普及啓発、思いを実現してくれる仲間を増やし、やりたいことができる認知症の方が増えるよう取り組みます。</p>	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

カ) 一般介護予防事業を推進する取組みについて記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
6	<p>一般介護予防事業を推進する取組み（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>地域の通いの場づくりにおいて、地域及びグループの特性に応じた活動を、創意工夫しながら支援している。また地域で通いの場の普及啓発に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>多様な地域活動や通いの場等と連携し、高齢者の社会参加促進のための地域資源の情報収集及び共有を行い、地域の介護予防ネットワークの構築を推進している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 自らの力で介護予防や健康増進に取り組めるように、地域資源を市民に広めます。</p> <p>内容： 「通いの場」や「サロン」という言葉の意味が十分に伝わっていないことが分かったため、説明文を追加した地域資源マップを新たに作成、配布しました。その結果、電話での問い合わせ件数や通いの場への参加者が前年度から6%増加し、地域住民が自ら介護予防に取り組むきっかけづくりにつながりました。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>「通いの場」「ふれあいサロン」を紹介した圏域内の独自マップを今年度更新作成し、わかりやすくするとともに、どのような場なのかを説明することによって、参加者の拡充につながっています。通いの場の少なかった地域への新規グループ立ち上げも行われています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>通いの場グループの交流会を開催することによって、異なるグループ間での情報交換・意見交換を行うことで、活動の維持・向上につながっています。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <p>通いの場に参加している高齢者は、圏域の高齢者のわずか 1.4%と少ないです。また、既存の通いの場では、活動の中心となるリーダーの高齢化が進み、後継者が不足しています。</p>	<p>【課題】</p> <p>通いの場やサロンの継続のために、活動メンバーやリーダーの育成・拡充の取組みに期待します。</p>
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>通いの場に参加するなど自ら介護予防に取り組む人が増えるよう、地域資源のさらなる周知に取り組めます。</p>	